

OpenSolaris 3分クッキング

☆レシピ第18巻☆

OpenSolaris

日本語印刷(続編)

Solaris 3分クッキング: OpenSolaris 日本語印刷デモ(続編)

今夜の3分クッキングは、OpenSolaris で、USB 接続のインクジェットプリンタを使って日本語印刷を実演します。実際の設定の仕方は、こちらのレシピを参考にしてください。

用意する物

OpenSolaris b134 それ以降がインストールされた PC

市販の USB 接続のインクジェットプリンタ。デモでは Canon PIXUS iP3100 と EPSON PM-850PT を使用します。

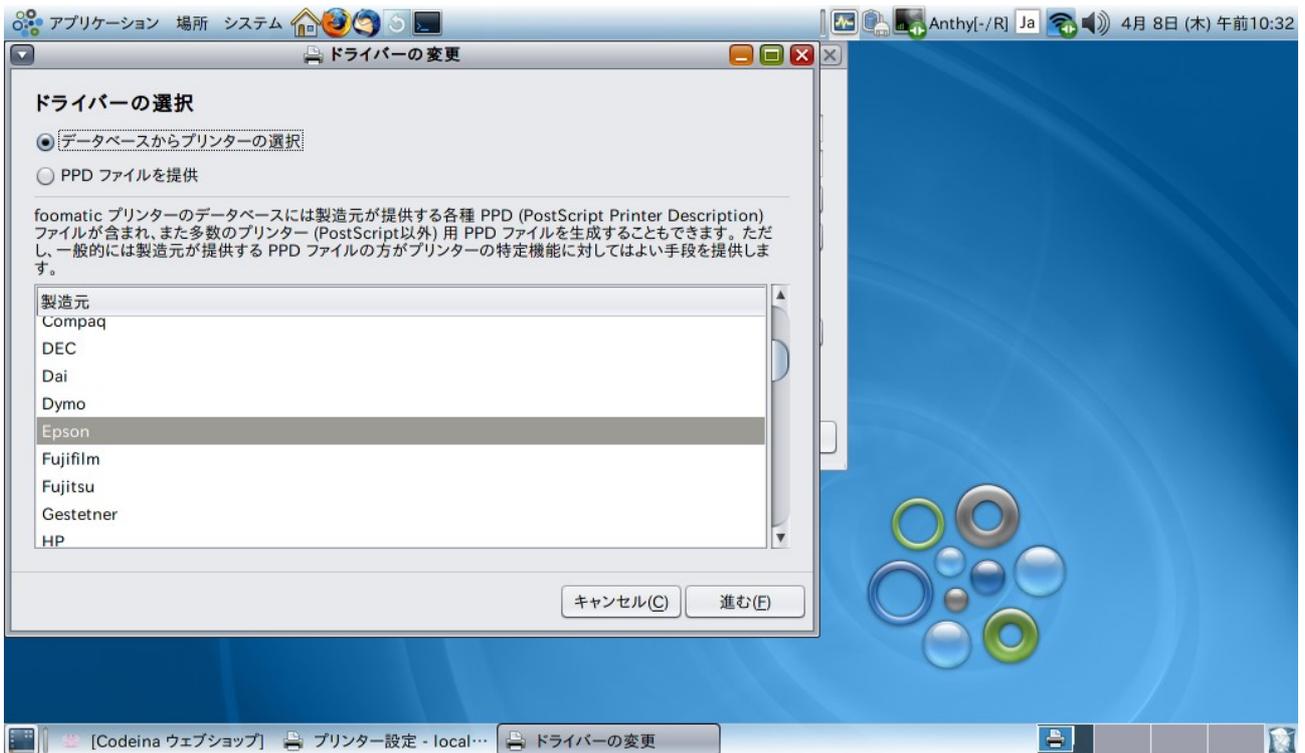
プリンタの接続と初期設定

OpenSolaris が起動中の PC にプリンタを接続し、プリンタの電源を入れます。

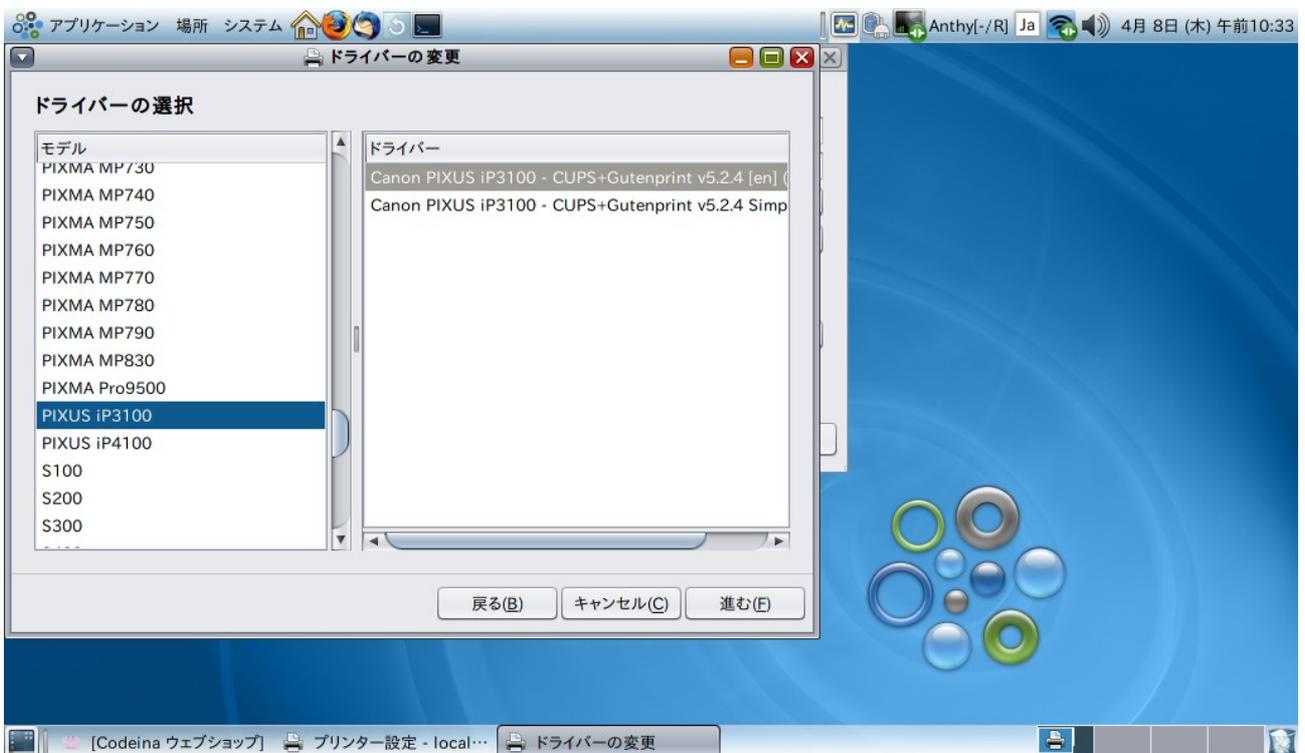


プリンタが自動認識されますが、「プリンタードライバーが見つからない」というワーニングが表示されます。どうも。。マッチしたドライバーがあってもこのワーニングが表示されるようです。。

「ドライバーを探す」ボタンをクリックします。



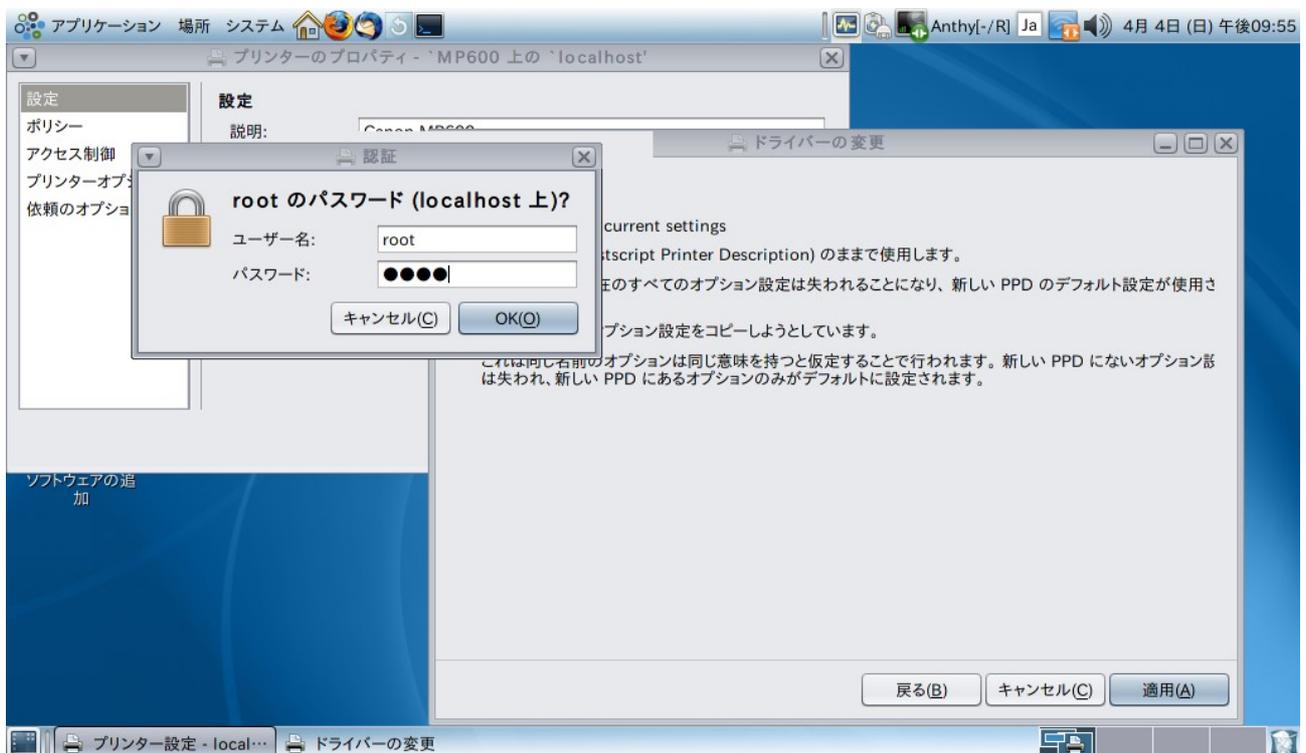
Canon PIXUS iP3100 の場合は、たまたまデータベースに、Canon-> PIXUS iP3100 がありますので、これを選択しますが、他の機種の場合は、近いモデル名を選択すればだいたい OK です。Canon MP600 の場合は、Canon PIXMA M610 を選択します。





A4 サイズの普通紙で、テストページが印刷されます。B134 では、"Printer Test Page" の一部が口に化けて印刷されますが、通常の日本語印刷では問題ありませんので、このバグは無視してよさそうです。

OK ボタンを押すと、root のパスワードが求められます。インストール時に指定したユーザアカウントのパスワードを入力します。



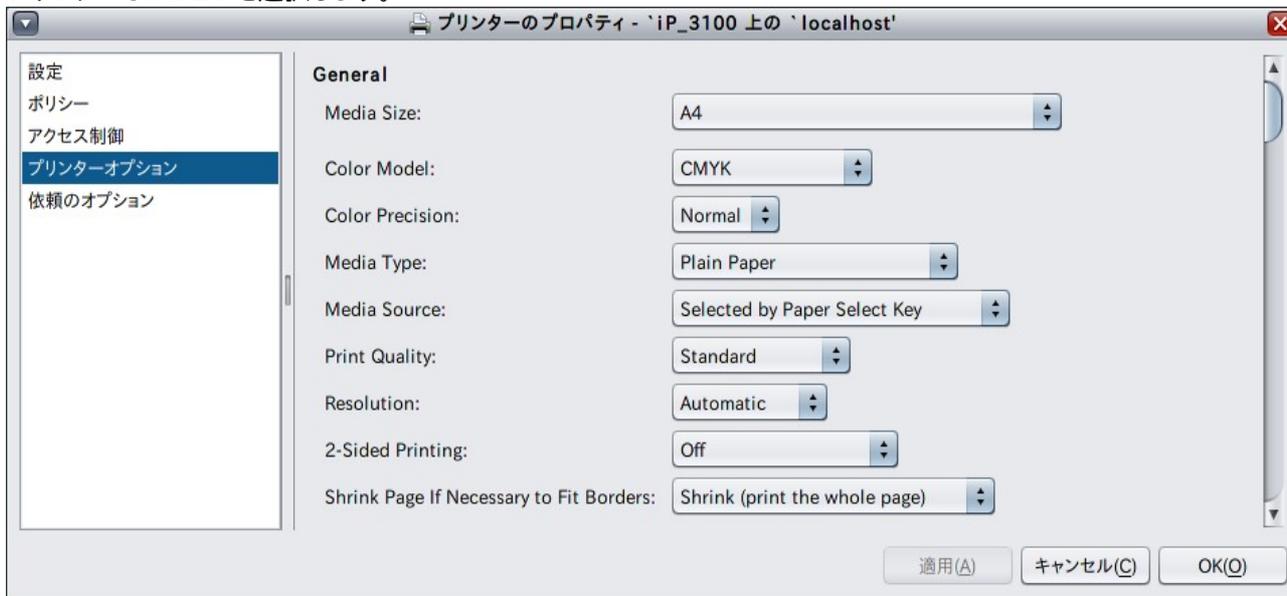
これで初期設定は完了です。

プリンターの設定

用紙サイズなど、プリンターの設定を変更するのは、メニューから、システム->システム管理->Print Managerを選択して、設定したいプリンターのプロパティを選択します。



プリンターオプションを選択します。



うまく印刷できない場合は

オープンソースのドライバーを使っているので、メーカー提供のドライバーのようにプリンター固有の機能や、写真などを専用紙にきれいに印刷したりはできませんが、CUPS 1.4.2 + Gutenprint v5.2.4 で、標準的なことはできます。カラー印刷でおかしい時は、Color Model を”Grayscale” にするとモノクロにはなりますが、たいていきれいに印刷できるようになります。

参考資料

<http://hub.opensolaris.org/bin/view/Community+Group+printing/Using+CUPS+in+the+Solaris+OS>

<http://hub.opensolaris.org/bin/view/Community+Group+printing/desktop>

< 作成: 原口 >